

2021 年の締めくくりと 2022 年 年頭所感等について

発行：一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

本年を振り返ってみますと、新型コロナウイルス禍一色と言ってもいいかもしれません。年明けからの緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が一向に解除されず、ワクチン接種は進められたものの、職域接種に手を挙げれば、すぐに足りなくなり、解熱鎮痛剤が品薄状態になる事態となりました。

そうした状況下でしたが、東京オリンピック・パラリンピックは強硬開催されました。オリンピック閉会の 8 月 8 日から、パラリンピック開催期間中が、まさに感染爆発の状態でした。東京で 1 日の新規感染者が 5 千人を超え、日本全体では 2 万 5 千人を数えました。

変異株の猛威が伝えられ、緊急事態宣言はどこまで続くのかと思った矢先、新規感染者が減少し出し、9 月 30 日には全面解除となり今日に至ります。ワクチン接種促進効果というのがあるものの要因となっています。飲食店における酒類提供や時短の解除が公表され、観光地にも人の賑わいが戻ってきています。新たな変異株の発見もニュースとなっていますが、予防薬や治療薬の話題も聞こえてきており、ぜひ終息してほしいと思います。

岸田新政権が誕生し、国政選挙を経て、新たな内閣の下で閉塞感打破に向けた経済活動が始まろうとしています。

そんな中、ドラッグストアは営業を継続し、地域社会におけるインフラとしての存在感を確かなものにしたのではないかと思います。

JACDS では、「尊敬される企業集団」を目指し、SDGs 推進活動に一層の力を入れ、食品ロス削減キャンペーンやトイレタリーメーカーと共同でプラスチック商品の自主回収計画を検討しています。合わせまして来年は、正・賛助両会員企業の発展に、一層役立つ活動を強力に行なってまいります。

新たな 2022 年を迎えるにあたり、本日、次の 2 点をお届けいたします。

1. 一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 会長 年頭所感
2. 2021 年の実施内容と今後の事業計画

報道関係の皆さまには引き続き、JACDS の活動に対し、ご協力並びにご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-15-10 名和ビル5階
TEL. 03-3506-1031 FAX. 03-3506-1033

一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会 会長 年頭所感

あけましておめでとうございます 本年も宜しくお願い致します。
新型コロナウイルスの感染や今もなお後遺症で苦しんでおられる多くの皆さまにお見舞い申し上げます。

昨年の今頃は、新型コロナウイルス感染症のまん延で悲壮感が世の中を覆っていました。あれから早 1 年が経過、国民の 7 割がワクチン接種を終え、治療薬の承認も間近に控えるに至りました。医療提供体制の拡充など、コロナ対策の課題は山積状態ですが、「ワクチン・検査パッケージ」導入による大規模イベントの解禁や入国制限の緩和など、再成長へ向けた経済の動きまでやっと辿り着いた印象です。

世界中を震撼させた新型コロナパンデミックによって、私たちドラッグストアの事業環境は大きく変化致しました。お客さまがご自身のお住まいの近くで買い物を済ませたいというニーズに合わせ、ドラッグストアでは①食品の取り扱い拡大、②衛生関連商品の取り扱い拡大、③調剤併設の拡大によって、引き続き収益の増大を図ることができました。結果的にドラッグストアの売上高は他の小売業と比較しても伸長率が高くなっているものと予想されます。

幕を開けた 2022 年、不確実性の高まる事業環境下において、私たちドラッグストアは国民のより快適な生活を実現するため、次のような重要ポイントを掲げ取り組みを進めてまいります。

- ① **カーボンニュートラルに代表される環境配慮への取り組み**
JACDS では、SDGs 推進委員会等を通じ、環境に配慮した持続的な事業活動に向けて取り組んでおります。私たちは、多くの生活必需品を取り扱う事業者としての責任を認識し、プラスチックごみの削減や回収などを通じた環境問題解決に積極的に取り組んでまいります。
- ② **ドラッグストア調剤取扱高 1 兆円突破と薬剤師資質向上への取り組み**
調剤併設型店舗の拡大によって、調剤取扱高は 1 兆円に達し、さらに拡大する見込みです。薬剤師採用も拡大しており、今後は薬剤師の資質向上が課題となってまいります。JACDS では、会員企業の教育への取組を促すとともに、勤務薬剤師委員会等を通じて研修企画等を支援してまいります。
- ③ **医薬品登録販売者の資質向上への取り組み**
JACDS のほぼすべての会員企業において医薬品登録販売者を雇用しています。医薬品登録販売者の役割は非常に大きく、資質向上への取り組みが欠かせません。JACDS では、学術・調査研究委員会等を通じて、医薬品登録販売者による活用を想定した受診勧奨ガイドラインの策定に取り組み、教育活動を支援してまいります。
- ④ **行政書式統一や検査薬 OTC 化等改革要望の取り組み**
各自治体で異なる行政手続書類の統一を切に希望します。また、健康状態を確認するための各種検査薬の OTC 化による店頭取扱の実現など、ドラッグストアを取り巻く事業環境の整備が求められています。JACDS では、会員企業のさらなる成長に向け事業環境改善の要望を行ってまいります。
- ⑤ **JACDS 政治連盟によるロビー活動強化**
ドラッグストアは規制の影響を少なからず受ける事業です。私たちは地域住民に対してより高い健康サービスを提供し続けるため、自ら規制変更を促し改善することが必要です。JACDS では、医療用医薬品のスイッチ OTC 化をはじめとする多くの課題に対し、政治連盟を通じたロビー活動を展開してまいります。

- ⑥ 他の業界団体との連携に向けた取り組み
JACDS では、各方面の団体との情報交流を図り、地域住民のために発言力強化に向けた連携に取り組んでいます。JACDS、日本薬剤師会、日本保険薬局協会との間では、薬業三団体としての連携をより緊密にして、国民の健康・医療問題に取り組んでまいります。また流通企業団体とは、市民生活を守るため経済環境の変革を提案してまいります。

事業拡大に伴い、社会での責任も拡大します。ドラッグストア業界が大きくなることは、社会的責任も大きくなっていることをあらためて認識しなければなりません。国民の医療や健康・環境問題に積極的に取り組み「尊敬される企業集団 JACDS」をさらに一歩前進させる決意で取り組んでまいります。

本年が皆さまにとって良い年となりますよう、お祈り申し上げます。

2022（令和4）年1月1日

一般社団法人日本チェーンドラッグストア協会
会長 池野隆光

JACDSにおける2021年の実施内容と今後の事業計画

■ 2021（令和3）年の内容

- 1) 新型コロナウイルス感染拡大防止 ワクチン調製手技研修を実施
- 2) 食品ロス削減啓発キャンペーンを開催 現在も開催中 12月末日まで
- 3) サーキュラーエコノミープロジェクト（CEP）推進協議会を発足
- 4) 声掛け強化キャンペーンを実施
- 5) 中国医薬商業協会と友好関係締結の調印式を実施
- 6) 各ブロックでは、9月は支部長会のみ開催
- 7) ドラッグストア業界研究レポート報告会をハイブリッド開催
- 8) 防災・有事対応（万引き大量発生情報の共有化）
- 9) そらぶちキッズキャンプ支援（募金活動。累計は2億を超えた）
- 10) 万引き防止や地球温暖化対策への啓発活動
- 11) 城西大コミュニティファーマシーインターンシップを継続実施
- 12) 記者意見交換会をハイブリッドで実施

■ 今後の事業計画

1. 全体的目標

「尊敬される企業集団を目指す」

「2025年にドラッグストア業界を10兆円産業にする」

2. 基本テーマ

- 1) 「尊敬される企業集団」としての協会活動の推進
- 2) 予防・治療・介護の拠点たるドラッグストアづくりを目指す
- 3) 業界全体でのSDGsの取り組みを推進する
- 4) 業種を超えた業界団体連携による情報共有を図る
- 5) 「街の健康ハブステーション」機能確立へ具体的な取り組みを進める
- 6) 調剤、介護、食と健康の普及拡大、健康寿命延伸の研究を進める
- 7) 医薬品登録販売者の社会的地位の確立と向上を目指す
- 8) 地方自治体各部署との連携強化のための活動を行う
- 9) JAPANドラッグストアショーを通じて業界の重要性啓発を推進する
- 10) 日本ヘルスケア協会と共にドラッグストアの存在価値向上へ連携を図る

3. 行事・イベント

- 1) 第22回JAPANドラッグストアショーのハイブリッド開催

会場：東京ビッグサイト

商談日：2022年8月19日（金）～21日（日）3日間

一般公開日：2022年8月20日（土）～21日（日）2日間

ライブ配信も併用し、全国でドラッグストアショーを楽しめるように計画中です

同時開催イベント：

- ・食と健康アワード
- ・薬剤師の資質向上に関するセミナー（認定薬剤師）
- ・そらぶちキッズキャンプ企画
- ・第17回セルフメディケーションアワード発表
- ・第10回健康（セルメ）川柳コンクールの発表
- ・その他 サンプル配布や各種セミナーの実施